

第7回国際自殺予防学会アジア・太平洋地域大会

国際会議寄附金に関する決算書

- 会議開催期間 平成28年5月18日(水)～21日(金)
- 寄附金募集期間 平成27年7月1日～平成28年5月21日

収入の部	平成27年度	平成28年度	合 計
国際会議寄附金(個人)	4,303,000	1,054,000	5,357,000
国際会議寄附金(法人・個人)	3,193,243	510,000	3,703,000
合 計	7,496,243	1,564,000	9,060,243

支出の部	平成27年度	平成28年度	合 計
事務局経費	379,753	54,571	434,324
通信運搬費	57,100	9,960	67,060
※会議費	0	8,509,947	8,509,947
消耗品費	3,418	498	3,916
印刷製本費	6,941	1,554	8,495
修繕費	10,752	9,752	20,504
賃借料	2,772	462	3,234
雑費	11,481	1,282	12,763
合 計	472,217	8,588,026	9,060,243
収支差額	7,024,026	△ 7,024,026	0

※国際会議費用として一括して第7回国際自殺予防学会運営事務局に支出しました(領収書参照)
 国際会議の事業報告及び決算については別紙のとおりです。当会が支出した会議費は国際会議
 決算書の収入の部3 寄附・協賛金の1)寄附金の一部として計上しています。
 寄附者のお名前は当会発行の「心と社会」164号(平成28年6月発行)に記載しています。

平成28年9月25日
 公益財団法人日本精神衛生会

公益財団法人日本精神衛生会 御中

領 収 書

金 8,509,947- 円也

第7回国際自殺予防学会 アジア・太平洋地域大会

第40回日本自殺予防学会総会

上記金額を正に領収いたしました

2016年6月6日

第7回国際自殺予防学会 アジア・太平洋地域大会

大会長 齋藤 友紀雄

(日本自殺予防学会理事長)



第40回日本自殺予防学会総会

会長 河西 千秋

(日本自殺予防学会常任理事/札幌医科大学神経精神医学講座)



IASP2016 TOKYO
May 18 (Wed) - 21 (Sat), 2016
Tokyo Convention Hall, Tokyo, Japan



2016年6月7日

IASP2016 開催報告書

第7回国際自殺予防学会 アジア・太平洋地域大会
大会長 齋藤友紀雄

第40回日本自殺予防学会総会
会長 河西千秋



1. 会議開催の経緯と概要

国際自殺予防学会は、自殺予防対策の推進のための学術・教育・活動の成果の普及と自殺予防対策の啓発、そして会員・関係者の交流の場として、世界大会と交互にアジア・太平洋地域大会を一年おきに開催し、また、国際自殺予防学会の連携組織である日本自殺予防学会も、同じく大会を毎年開催しております。

特に、この2016年は、わが国において自殺対策基本法施行10周年となる記念の年にあたることから、日本自殺予防学会は国際自殺予防学会アジア・太平洋地域大会の東京開催を誘致し、国際自殺予防学会理事会のご支援のもとに大会の開催が実現したという経緯です。

アジア・太平洋地域の人口規模はたいへん大きく、世界の自殺者総数に占める割合も高く、またその背景にある多様な文化・社会的背景といった観点から、アジア、ないしは太平洋地域の自殺問題とその背景については、近年、特にクローズアップされるようになっております。

第7回国際自殺予防学会アジア・太平洋地域大会、第40回日本自殺予防学会総会では、自殺予防対策はもとより、その背景にある精神保健に関する問題、心理社会的問題、あるいは教育・公衆衛生関連等の施策や最新の研究成果をめぐり、多様で深遠な、そして活発な議論や発信がなされるものと期待されます。これらは、この大会で開催される官民合同の「自殺対策基本法制定10周年記念国際シンポジウム」、日本いのちの電話連盟も参加する「ヘルプ・ライン国際シンポジウム」、そして各種の教育・啓発講演と併せ、必ずや、わが国の自殺予防対策、対人支援活動、医療、社会システムの発展に寄与するものと確信しております。

2. 学会名称

和：第7回国際自殺予防学会アジア・太平洋地域大会/第40回日本自殺予防学会総会
英：7th Asia Pacific Regional Conference of the International Association for Suicide Prevention jointly held with the 40th Japanese Association for Suicide Prevention

3. 主催機関などの名称

主催：国際自殺予防学会、日本自殺予防学会
共催：一般社団法人日本いのちの電話連盟、公益財団法人日本精神衛生会
後援：東京都、日本医師会、日本看護協会、
日本精神科病院協会、日本精神神経科診療所協会、日本精神神経学会、
日本総合病院精神医学会、日本うつ病学会、日本医療社会福祉協会、
日本臨床心理士会、日本心理臨床学会、日本精神保健看護学会

Secretariat for the 7th IASP/40th JASP:

c/o CONVENTION LINKAGE INC.
2 Sanbancho, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0075, Japan
Tel: +81-3-3263-8688 Fax: +81-3-3263-8693 E-mail: iasptokyo2016@c-linkage.co.jp



4. 開催期間

2016年5月18日(水)～21日(土)

5. 開催場所

東京コンベンションホール

〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目1-1 東京スクエアガーデン 5F

TEL: 03-5542-1995 FAX: 03-5542-1994

6. 参加数

520名

29カ国/地域 ※招聘者などを含む

7. 会議の目的と開催意義

アジア他各国、日本全国より研究者が集まり、自殺予防対策はもとより、その背景にある精神保健に関する問題、心理社会的問題、あるいは教育・公衆衛生関連等の施策や最新の研究成果を討議し、より多様で深遠な、そして活発な議論を通し、日本の精神保健の進歩・発展に貢献することを目的としている。

8. 会議の成果

第7回国際自殺予防学会アジア・太平洋地域大会/第40回日本自殺予防学会総会は、29か国から500名を超える参加者を迎え、4日間の会期を終了いたしました。内容としては、プレナリーが11枠、スペシャル・レクチャー2枠、ワークショップが5枠、シンポジウムが17枠、そしてランチョン・セミナーが7枠という過去最大規模の大会となりました。このような枠組の中で、世界各国から参集した実践活動家や研究者により、自殺予防対策や保健・医療・福祉対策はもとより、その背景にある精神保健に関する問題、心理社会的問題あるいは教育・公衆衛生関連等の施策や最新の研究成果をめぐり多様で深遠な議論が展開されました。官民合同の「自殺対策基本法制定10周年記念国際シンポジウム」や日本いのちの電話連盟も参加した「ヘルプ・ライン国際シンポジウム」は、まさに記念碑的なセッションでした。主催者、関係者一同、本会の開催が、今後の我が国の自殺予防対策、対人支援活動、医療、社会システムの発展に大きく寄与するものであったと確信しております。

9. 本大会についての連絡先

第7回国際自殺予防学会アジア・太平洋地域大会 第40回日本自殺予防学会総会運営事務局
株式会社コンベンションリンクージ内

〒102-0075 東京都千代田区三番町2

TEL: 03-3263-8695 FAX: 03-3263-8693 E-mail: iasptokyo2016@c-linkage.co.jp

Secretariat for the 7th IASP/40th JASP:

c/o CONVENTION LINKAGE INC.

2 Sanbancho, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0075, Japan

Tel: +81-3-3263-8688 Fax: +81-3-3263-8693 E-mail: iasptokyo2016@c-linkage.co.jp

第7回国際自殺予防学会アジア・太平洋地域大会

第40回日本自殺予防学会総会 収支見込決算書・IASP2016 Tokyo Budget Report

【収入の部/Revenue】

	項目/Items	金額/Fee (JPY)	数量/Amount	金額/Amount (JPY)
1	参加登録費 [IASP]		315	17,089,000
1)	事前登録/Pre-registration		246	11,636,000
	Zone 1			
	IASP members	50,000	41	2,050,000
	IASP Non-Members	55,000	138	7,590,000
	Students, Survivors and Volunteers	30,000	38	1,140,000
	Zone 2			
	IASP members	40,000	5	200,000
	IASP Non-Members	45,000	8	360,000
	Students, Survivors and Volunteers	20,000	9	180,000
	Zone 3			
	IASP members	30,000	1	30,000
	Non Members	35,000	1	35,000
	Students, Survivors and Volunteers	10,000	2	20,000
	Zone 4			
	IASP members	10,000	0	0
	Non Members	15,000	1	15,000
	Students, Survivors and Volunteers	8,000	2	16,000
2)	当日/On-site		69	4,255,000
	Zone 1			
	IASP members	60,000	6	360,000
	IASP Non-Members	65,000	52	3,380,000
	Students, Survivors and Volunteers	40,000	5	200,000
	Zone 2			
	IASP members	50,000	1	50,000
	IASP Non-Members	55,000	4	220,000
	Students, Survivors and Volunteers	30,000	0	0
	Zone 3			
	IASP members	40,000	0	0
	IASP Non-Members	45,000	1	45,000
	Students, Survivors and Volunteers	20,000	0	0
	Zone 4			
	IASP members	20,000	0	0
	IASP Non-Members	25,000	0	0
	Students, Survivors and Volunteers	17,000	0	0
3)	その他/Others			1,198,000
	同伴者 / Accompanying persons	15,000	6	90,000
	ガラディナー / Gara Dinner	10,000	103	1,030,000
	抄録集 / Program & Abstract	2,000	27	54,000
	コンgresバック / Congress bag	1,000	24	24,000
2	参加登録費 [JASP]			910,000
1)	国内のみ参加/JASP Only		91	910,000
3	寄附・協賛金/Sponsorship & Donation			33,984,747
1)	寄附金/Donation			13,444,947
2)	助成金/Subsidies			6,300,000
3)	協賛費/Sponsorship			14,239,800
4	雑収入/Others			296
	利息	296		296
	収入合計/Total			51,984,043

【支出の部/Expenses】

	項目/Times	金額/Amount (JPY)
1	会議準備費 / Preparatory Cost	14,953,339
	事務局費 / Personnel Fee	3,789,297
	会議費 / Meetings	190,226
	企画・制作費 / Planning and production	10,973,816
2	当日運営費 / On-site Management	28,229,118
	人件費/Personnel & Staff	4,393,000
	旅費・宿泊費/Travel and Accommodation Expenses	155,520
	会場費・機材・設営関係費/ Miscellaneous	19,830,054
	社交行事・接遇関係費/ Social Events	3,850,544
3	事後処理 / Post-event Treatment	3,419,720
	人件費 / Personnel Fee	300,000
	会議費 / Meetings	100,000
	その他 / Miscellaneous	3,019,720
4	進行管理費 / Overall Management Fee	2,149,424
	小計 / Sub Total	48,751,601
	消費税 / Tax	3,232,442
	支出合計 / Total	51,984,043

上記のとおり、報告いたします。

2016年9月1日

第7回国際自殺予防学会 アジア・太平洋地域大会

大会長 齋藤 友紀雄

